

霞ヶ浦・北浦におけるワカサギの餌料環境

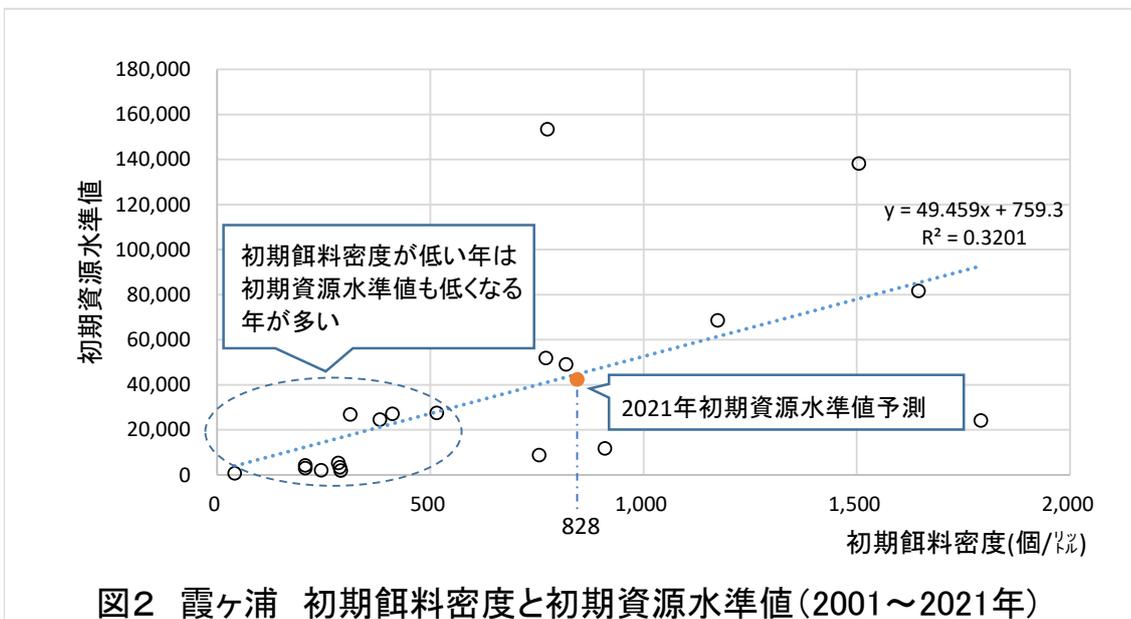
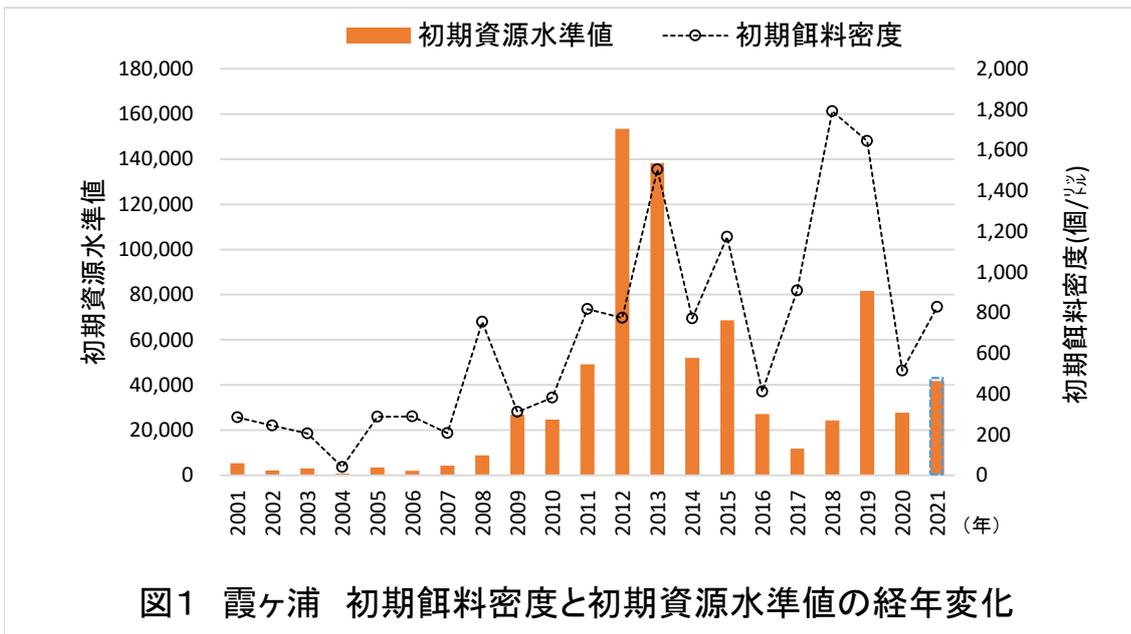
令和3年5月26日
茨城県水産試験場内水面支場

1. 霞ヶ浦

○今年のワカサギの初期餌料密度¹⁾(3,4月)は、828個/ℓと昨年の1.6倍程度。直近10年間の平均1,032個/ℓよりは低い。(図1)

○過去20年間の初期餌料と7月時点でのワカサギ初期資源水準値²⁾との関係からみると、今年のワカサギ資源は、昨年より高い水準となる見込み。(図1, 2)

- 1) 初期餌料密度 : ワカサギのふ化仔魚期(3,4月)の餌となるワムシなどの小型プランクトン密度
- 2) 初期資源水準値: トロール解禁前である7月初旬の湖内のワカサギ尾数を示す指標値



2. 北浦

○今年のワカサギの初期餌料密度¹⁾(3,4月)は、1,099個/㍓と、昨年の1.8倍程度。直近10年間の平均1,095個/㍓並み。(図3)

○過去20年間の初期餌料と7月時点でのワカサギ初期資源水準値²⁾との関係からみると、今年のワカサギ資源は、昨年より高い水準となる見込み。(図3,4)

- 1) 初期餌料密度 : ワカサギのふ化仔魚期(3,4月)の餌となるワムシなどの小型プランクトン密度
- 2) 初期資源水準値: トロール解禁前である7月初旬の湖内のワカサギ尾数を示す指標値

